

令和5年度事業概況

事業方針

令和5年度は、当協会の基本理念、中期事業計画及び現下の経済情勢等を踏まえ、事業計画及び基本財産と支払準備資産の見込を以下のとおりとしました。

事業計画

(1)保証承諾額	380,000百万円	(前年度計画比 118.8%)
(2)期末保証債務残高	1,670,000百万円	(同 95.4%)
(3)代位弁済額	25,000百万円	(同 113.6%)
(4)求償権実際回収額	4,600百万円	(同 100.0%)

基本財産と支払準備資産の見込み

(1)基本財産保有額	89,473百万円	(前年度計画比 108.8%)
(2)支払準備資産	191,045百万円	(同 100.4%)

県下の経済金融情勢と事業の実施状況

令和5年度の兵庫県の景気は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、人の流れが活発化したことから、一部で景気の緩やかな回復傾向が見られました。

また、経済活動の正常化を受けたペントアップ需要等がけん引する形で、個人消費にも回復が見られました。

一方、「新型コロナウイルス感染症対応資金」(以下、「ゼロゼロ融資」という。)の据置期間終了に伴って本格的な返済フェーズに移行する中、各種公的な支援策が終了したこと等もあり、抑えられていた倒産件数は増加しつつあります。

このような状況のもと、令和5年度の事業の実施状況は以下のとおりとなりました。

保証業務

依然として厳しい経営環境が続く中、多様な経営課題を抱える事業者に対し、個別に寄り添いながら、「伴走支援型特別保証制度」等を活用し、必要な保証を迅速かつ的確に提供しました。また、金融機関と緊密な連携を図りつつ、事業所への訪問、モニタリング等による伴走支援を実施するとともに、経営者保証を不要とする取組を推進しました。

期中管理・経営支援業務

物価高や後継者不足等を背景に多様化・高度化する経営課題の解決に向け、事業者の実情を踏まえた経営支援をプッシュ型で実施しました。また、創業イベントや事業承継に関する勉強会・出張相談会などを実施したほか、ひょうご信用創生アワードを開催し、優れた支援事例を共有することで、支援者及び事業者の意欲向上につなげました。

求償権回収業務

個々の求償権の状況把握と見極めに努め、サービサーも有効に活用しつつ、実情に応じた効果的な回収行動に取組みました。また、求償権関係人の再チャレンジを促すため、「一部弁済による連帯保証債務免除ガイドライン」を活用した生活再建支援等を推進しました。

当期の業績

令和5年度の業績は次のとおりとなりました。

保証業務実績

(1) 保証承諾

件数	24,608件	(前年度実績比 117.6%)
保証承諾額	457,392百万円	(当年度計画比 120.4%) (前年度実績比 126.4%)

前年度から引き続き「伴走支援型特別保証制度」の利用が活発であり、同制度によるゼロゼロ融資を含めた既存保証の借換え需要も旺盛であったことから、保証承諾額は当年度計画、前年度実績ともに上回りました。

(2) 期末保証債務残高

件数	125,077件	(前年度実績比 96.0%)
保証債務残高	1,724,512百万円	(当年度計画比 103.3%) (前年度実績比 95.0%)

ゼロゼロ融資の返済本格化に伴う償還の増加により、保証債務残高は前年度実績を下回りましたが、保証承諾額が増加したことで当年度計画は上回りました。

(3) 代位弁済

件数	2,026件	(前年度実績比 154.4%)
代位弁済額	23,007百万円	(当年度計画比 92.0%) (前年度実績比 146.3%)

ゼロゼロ融資の返済が本格化する中、原材料価格の高騰や人手不足等の影響により事業継続が困難になる事業者も顕在化しており、代位弁済額は前年度を上回りました。

基本財産と支払準備資産実績

(1) 基本財産

基本財産	93,461百万円	(当年度計画比 104.5%) (前年度実績比 106.1%)
基金	19,460百万円	(前年度実績比 100.0%)
基金準備金	74,001百万円	(同 107.8%)

(4) 求償権

求償権 実際回収額	6,502百万円	(当年度計画比 141.3%) (前年度実績比 132.2%)
--------------	----------	------------------------------------

無担保求償権や法的整理の割合が増加するなど、回収環境が厳しさを増す中、現地訪問等により個々の求償権関係人の状況を把握し、返済交渉や法的措置等を積極的に行った結果、回収額は、当年度計画・前年度実績ともに上回りました。

求償権償却額	20,045百万円	(当年度計画比 88.5%) (前年度実績比 136.6%)
--------	-----------	-----------------------------------

保険金	16,622百万円	(前年度実績比 137.7%)
損失補償補填金	1,047百万円	(同 147.7%)
償却準備金等	2,377百万円	(同 125.2%)

求償権残高	5,243百万円	(前年度実績比 169.1%)
-------	----------	-----------------

求償権残高は、代位弁済額が前年度実績よりも増加したことから、前年度実績を上回りました。

(2) 支払準備資産（借入金及び関連会社株式を除く）

支払準備資産	199,524百万円	(当年度計画比 104.4%) (前年度実績比 100.7%)
現金	1百万円	(前年度実績比 124.2%)
預け金	48,483百万円	(同 100.1%)
有価証券等	151,040百万円	(同 100.8%)

支払準備資産は、保証承諾額の増加等により、当年度・前年度実績を上回りました。

令和5年度経営計画の達成に関する評価及び公表

業務運営に係る経営の透明性をより一層向上させ、客観性の高い評価を行うことにより対外的な説明責任を適切に果たすことを目的として、外部評価委員会を設けています。令和5年度の外部評価の内容につきましては当協会のホームページに公表する予定です。

令和5年度の主な取組

SDGs(持続可能な開発目標)の取組

当協会では、「事業の維持・創造・発展に努力する中小企業の良きパートナーとして信頼される保証協会を目指し地域経済・社会の発展に貢献します」という基本理念のもと、令和4年1月1日付でSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨に賛同することを宣言しました。

具体的な行動として、SDGs達成に取り組む事業者の皆さまを支援するためSDGs支援保証「ステップ」の推進や「SDGs社債保証」の取扱い開始、実質100%再生可能エネルギー活用事務所の拡大、健康優良企業やミモザ企業の認定取得、SDGs債(グリーンボンド、ソーシャルボンド)の継続運用などに取り組みました。

引き続き、当協会ではSDGsの目標達成に向けた取組を進めるとともに事業者のSDGsの取組を後押ししていきます。



SDGs(持続可能な開発目標)

創業イベント等の開催

当協会では、地域経済の活力向上につながる創業を支援するため、各種創業イベントを開催しています。

令和5年度は、創業予定の方や創業後概ね5年未満の方を対象とした「女性創業セミナー2023」(令和5年7月12日)、「創業フェアひょうご2023」(令和5年10月3日)を開催。創業体験談、補助金や助成金等の紹介、参加者同士の交流会などを実施し、あわせて84名の皆さまにご参加いただきました。



女性創業セミナー 2023



創業フェアひょうご2023

ビジネスフェアへの出展

令和5年9月7日、8日の2日間にわたり、神戸国際展示場において開催された「国際フロンティア産業メッセ2023」に出展しました。

当協会の出展ブースでは、多くの方々に保証協会を知っていただくため、パネルの展示やパンフレットの配布、デジタルサイネージの設置などにより、信用保証のしくみや各種保証制度の紹介を行いました。

また、当協会をご利用中の企業10社に対して出展を支援し、自社製品や技術をPRする場として、ご活用いただきました。



国際フロンティア産業メッセ2023

「2023 ひょうご信用創生アワード」を開催

令和5年11月14日、ラッセホールにおいて「2023 ひょうご信用創生アワード」を4年ぶりに開催し、約120名の方にご参加いただきました。

本アワードは兵庫県地域支援金融会議の参加機関による優れた成果を上げた金融、経営支援の事例を顕彰するとともに、支援機関や事業者の皆さまと共有することにより、兵庫県の地域経済の発展に寄与することを目的としています。

当日は、事前選考により優秀賞に内定した6事例についてプレゼンテーションが行われ、最終審査を経て、最優秀事例を決定しました。また、SDGs達成に向けて優れた取組を行っている事例には選考委員特別賞を授与しました。



2023 ひょうご信用創生アワード

各地で開催されている創業塾等へ講師を派遣

当協会では、県内の商工会や商工会議所が開催している創業塾などに職員を派遣し、信用保証制度の概要や創業前後に活用できる保証制度の説明、創業計画書を作成する際のポイントなどについて、講義を行っています。

今後も商工会・商工会議所との連携を強化し、創業をお考えの方や創業間もない方への支援に努めていきます。



宝塚商工会議所での様子

保証申込の電子受付を開始

令和5年11月6日から、尼崎信用金庫（一部の支店）との間で、県内初となる信用保証協会電子受付システムの運用を開始しました。

本システムは、保証申込書類を持ち込みや郵送などにより提出していた従来の方法に比べて手続きのスピードアップが実現し、事業者の皆さまの資金需要に迅速・的確にお応えすることが可能となります。

当協会は、保証申込の電子受付や保証書の電子交付の普及をはじめ、事業者の皆さまの利便性向上に寄与する取組を積極的に行ってまいります。

全体イメージ(API連携・HULFT連携)

